

「占いばなし」にしないために マリンタロットリーディングノート 使い方のヒント

このノートは、マリンタロットを使った占いや練習を記録できるノートです。
海の世界や生き物がたくさん描かれていて、開くだけで気持ちが海へと誘われ、
マリンタロットの世界に集中できることでしょう。



特別な書き方を覚えたりする必要はありません。

占いになれた人であれば、自由に、好きなようにどんどん記録していきましょう。

どう記録すればいいかな…、と思った人のためには、いくつかポイントをお話しておきます。

占いにはいろいろな方法、いろいろな心構えがあり、どれが正しいということもなければ
どれかが間違っているということもありません。自らのこころと向き合い、鑑定相手がいるなら
その相手とも向き合い、その時その時に最もいいと思われる方法ならば、どんな方法でも
よいのです。

ただ、より精度をあげるためには一つ一つ丁寧に鑑定していくことが大切です。

ここでいう丁寧な鑑定とは、カードの扱いとか心構え、言葉遣いとかのことではなく

「占いばなし」にしない、ということなのです。

占っぱなし、とは、「占った結果が出た」その一瞬で終わりにしてしまうことです。

その結果は、どのように導き出されたのでしょうか。あなたの心に先入観はありませんでしたか？ 周りがうるさかったり、集中できないでのごとはなかったのでしょうか。

読みにくいカードがあったのに、とりあえず…と強引に読んだりはしていませんか？ 占い中に時間が無くなり、なんだか中途半端になったりはしなかったのでしょうか。

ちょっと意味が思い出せなくて、ガイドの本をみたりしましたか？ なんとなく体調が悪かったということはないですか。

カードの折り目に気づいて不愉快になったりしませんでしたか。またこのカードが出た…とうんざりしたりしなかったのでしょうか？

昨日イヤな夢を見た、そんな日ではありませんか。社会的に大きな事件があり、不安になった日でしょうか？

鑑定相手に信用されなくて悲しかった、そんなことはなかったですか…

それとも…

このように、鑑定には様々な状況と心理が関わってきます。それによって、カードの読み方も変わってくるのです。

自分の癖、自分のカードの癖、相性など、記録をとることで様々なことが冷静かつ客観的に理解でき、占いの精度は格段にあがっていきます。しばらく続けているうちに、「なんとなくイヤだな」という相手やカードが少なくなっていることに気づくに違いありません。

そう、リーディングノートとは「なんとなく」を少しずつ消して、代わりに、「確信が持てる」ことを一つずつ増やしていくための道具なのです。



Point 1

ここには占いのテーマや、相談内容を書いてみましょう。練習に使っている場合は練習のテーマもいっしょに書いておきましょう。

たとえば、「今日の運勢」(解説を見ずに占う)
といった感じです。。

ここにはスプレッドをスケッチしておきましょう。

実際に並べたときに起こったことは全てメモしましょう。

たとえばカットした時にカードが乱れて困ったとか、

飛び出して来て表になってしまったカードがあったとか…

後々になってあれには意味があった、と気づけるかもしれません。

並べているうちに、新しいスプレッドをひらめくこともよくあることです。

それもしっかりメモしておきましょう。

Point 2

Point 2

Point 3

ここにはカットから展開の間で最も気になったことをメモします。図も描けるようになっているのは、カードの置き方が気になったり、絵の内容が気になったときに図示するためです。

よくあることなのですが、斜めに置くはずのカードを何故かまっすぐにおいてしまったり、いつもはなんとも思わないマーメイドの顔が気になったり。言葉にならないことは絵や図で残しておきましょう。また質問者にひとことメモを貰う欄としても役立ちます。

鑑定相手からの直筆の一言は役立つだけでなく、後で見返すととてもうれしいコレクションになるかもしれません。

このゾーンには、鑑定状態の詳細な記録をしていきます。

忘れてしまう場合はメモを取りながらでも構いませんが、なるべく鑑定が全て終わってから記録する方がいいかもしれません。



Point 4

質問の背景

ひとりて占う場合は自分自身に、相手がいる場合は相手に、質問について詳細にインタビューして記録します。これは鑑定にとって一番大切なことで、特に一人で占う時「気分て」「なんとなく」占うことを習慣にしないために役立ちます。

鑑定の精度を上げるためには、質問の具体度と精度を上げていくことです。タロットは質問が具体的なら具体的なほど、上手に答えを用意できるものなのです。

慣れないうちはどう掘り下げればよいか分からないときがあったり、場合によっては質問者が全く話してくれない非協力的な（占い師には情報を与えない方がよい、と思いきこんでいる人も多いようです）ときもあります。

そのような時は、質問をきいてどう思ったか、質問についてなにか閃くことはあったか、

などという自分の心理について記録することも役に立ちます。



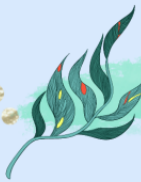
時間と状況

これは具体的に何月何日何時、というだけでなく、その時刻や日にちが自分にとってどうであったか、という記録です。たとえば、簡単になら11時で昼ご飯前、部屋着を着て自分の家で占うという程度の記録ができます。

しかし、もう少し詳細に書くことができればもっとよいでしょう。たとえば、季節は冬、もうじきクリスマスで旅行に行く予定がある、時間は午後、場所は会議室でスーツを着ている、占いの後には人に会う予定がある…といったように… 占いの時、またはその前後に自分がどのような時間や状況を過ごしたかなどを記録します。

どんな部屋で鑑定しているのか、寒かったか暑かったか、などという鑑定場所の記録はとても大切です。同じ部屋でも明るさや風通しなど、毎日の違いが少しずつあるはずです。広い部屋か、和室か洋室か、思いつく限り観察して記録していきましょう。着用している衣服の状態も参考になりますよ。

また状況には鑑定相手との関係性やなぜ占うことになったのかという流れや、社会的に大きな出来事や事件があったらそれも記録しましょう。どういうシチュエーションで占ったかを、詳細に記録してみましょう。



体調と心理

鑑定の自分の体温、食事状況、体調、気分について記録していきます。

食事前でお腹が空いている、食欲がない、熱がある、下痢している、朝から絶好調、なんだかそわそわする、昨日から落ち込んでいる、などなど…

落ち込んだり調子が良いなどニュートラルではないときには、「なぜそうなったのか」も記録します。状況のところに事件を記録していた場合も、心理はより詳細にここに記録します。たとえばきつい服や靴で調子が悪いときは、状況欄だけでなくここにも記録しましょう。

質問者に対して苦手意識、劣等感、親しみ、嫌悪、優越感など、特別な感情があることに気づいたら、それも必ず記録します。特に何も無かったなー、というときでも、占い終わったらノートを広げて、今日はどんな気持ちだったかな…と振り返ること、特別な気づきもあるかもしれません。



4のゾーンの記録は鑑定後、相手や自分がなんだか納得いかないような占い内容になってしまったり、またはいつもより調子よく完璧に占えた場合——それが体調や気分、またはスケジュールのせいでないかどうかを確認するためのものです。

人に会う前後に占うと調子がいいようだ、体調が悪いと（熱がある、ノドがいがらっぽい、下痢しているなど具体的な記録が大事です）ネガティブに読み過ぎて失敗するようだ、などなど、記録をたくさんつければ自分の癖、カードの癖が次第に分かってきます。

体調不良で結果が悪いときは自分のせいではありませんから、反省しなくていいのです。ただ、そういう時には占わないようにしましょう、と学ぶだけでいい——つまりは余分な心配や努力がなくなるわけです。

記録を積み重ねて、自分にとって最良の状況と時間、そして場所を確認していきましょう。そのような環境で修練を積むことで、あなたのリーディングはますますよくなっていくはずです。また不利な状況のコントロールも、きっと上手になっていくでしょう。



ここでは鑑定結果と今日の総括的感想を書いていきます。

結果については一人占いの場合は、より詳細に記録しましょう。

相手がいる場合は適当でも構いません。他人に説明したことは、意外に詳細に覚えているものですし、納得させなければなりませんので丁寧に読むからです。しかし一人鑑定はどうしても杜撰になります。大切な鑑定ですから、一回でも無駄にしないように、しっかり記録してみましょう。後になって占いの上達以上の、たとえば人生のヒントのような、大きな収穫があるかもしれません。

感想は、占った時に困難と思った点、面白かったこと、ちょっとした気づきなど、なんでも思ったことを自由に記録してみましょう。どうでもいい内容でも、後で読むと中々楽しい読み物になるかも知れませんよ。



大きくスペースをとり、しかも美しい画像を添えてあるこの部分は、鑑定者、つまり占ったあなたが今回の鑑定を通して得た靈感や直感、インスピレーションを書く場所です。

絵でも図でもなんでも書けるようになっています。

今回の鑑定で印象に残ったカードはありましたか？ あればどうしてそうだったのか、是非記録に残してください。特に何も無い場合は、自分や質問者の言葉で印象に残ったものなどをなんとなく文字にして残しておくのもいいでしょう。

タロット占いとは、自らの潜在意識——ひいては全世界の集合的無意識と接続して、そこにすでにある知恵にアクセスすることだと言われています。無意識な言葉や気持ちをおろそかにせず、日記のようでも構いませんので、大切な今日という鑑定で得たものを自由に記録してみてください。

このノートには、枠があるページ以外にも、自由なページが何枚かあります。
タロット占いを通しての気づき、日々の雑記などに自由に使って想像の翼を広げて
ください。

マリンタロットをダウンロードしたり購入したりして、何度も何度もすり切れるまで
占っている… けれどもまだまだ、どう読んでいいかわからない…

そんな皆さんの声を受けて、このノートは生まれました。

大切な鑑定に、日々の楽しみに、特別な日のイベントに、…占いと向き合うのに疲れた
時に――

どうぞそっと頁を開いて、マリンフォースを受け取ってください。



それぞれのページには、テーマがあります。

テーマに沿った占いに使うと、より集中できるでしょう。

- 飛ぶ生き物たちが舞い、海水に根付く植物たちと魚が遊ぶ、海と陸と空の狭間
関係性や移動、変化、体調
- 色とりどりの小魚たちが遊ぶ浅い海
日常(今日の運勢など)、仕事、習慣
- 妙なる調べとともにマーメイドたちが集まり、馬車が行き交う海の舞踏会
非日常、恋愛、出会い、趣味
- 誰もたどり着くことのできないほど深い海
深刻な問題、難しい鑑定
- 竜王が君臨し、人魚達の聖域がある海の王国
特に助けが必要な時、金銭

制作：スタジオ・マイアディーガ

許可無き転載・複製はご遠慮ください。

©Tsukiyo Nozomieru, Mami Tachibana, Studio+Madiaga LLC. 2023